



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ  
湯河原ロータリークラブ 週報



イマジン  
ロータリー

2023年3月17日(金) 第2913回例会 形式:対面 天候:曇り  
合唱:それこそロータリー

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

今日は昨日帰ってきた九州旅行のお話をさせていただきます。

8日間往復3000km車で走ってきました。佐賀の呼子でイカ刺しグルメと有田、伊万里焼の見学です。往復の

移動は疲れ切るまで走って、途中キャンプ仕様の車で寝てほぼ1日で移動しています。現地の宿泊は東横インで、夕方には町の居酒屋で飲んだくれてるのが旅行の基本的なパターンです。呼子は1年中イカが食べれるそうですが、やはり時期によってイカの種類が違っていました。今回は「コウイカ」と言って甲をしょっているイカでした。冬は主に「アオリイカ」中間期は「ヤリイカ」暖かくなると「ケンサキイカ」となるようです。呼子の朝一がとても有名で、そんなに期待したほどでもありませんでしたが、イカの料理屋はもう11時頃から並んでいて、その混みようは半端ない状況でした。大体3000円から5000円くらいで定食が食べれますが、3000km走っても行きたいくらい美味しかったです。

旅行中の全般的感想は旅行クーポンを紙でもらい、パソコン苦手の我々にとってスマホへの読み込みが大変でしたが、九州の方は皆親切で何処へ行ってもゆっくり説明してくれるのにはとてもうれしかったです。一番驚いたのは各SAのトラックの多さです。何処のSAも夜はトイレ休憩も出来ないくらいアクセス道路までトラックの量で、物流のすごさに驚かされました。又我々は年に2回くらいこんな旅をしますが東横インの地方にまでわたる数の多さと予約、キャンセルが非常に簡単に出来るので、旅先でも変更が簡単に出来るという便利さです。当日15時までに連絡すればキャンセルチャージはつきませんので道路状況で変更が出来るのはとても便利です。

そんな8日間の旅行でしたが、ほとんど車中と居酒屋の思い出しか残ってない旅はいつものパターンでした。

幹事報告

ガバナーより

1. 2023年地区研修・協議会開催のご案内  
日時:4月23日(日) 登録11時~12時  
研修・協議会12時点鐘

場所:東海大学湘南キャンパス

登録締め切り:3月31日(金)

登録料:1名につき6,000円

(クラブにて一括してご送金ください)

連絡事項 無し

スマイルボックス

青木義美君

今回も九州3000km走ってきました。おかげさまで今回はスピードつかまりませんでした。

安江仁孝君

熱海駅前前でタイヤがパンクしました。幸いにも付近のガソリンスタンドに車を入れて事なきを得ました。どうも冬タイヤが劣化していたようです。皆様ご注意ください。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名

会員 23名 欠席10名(免除者3名)

出席率 65.00%

前回の修正出席率 85.71%

前々回の修正出席率 85.00%

事前メイクアップ 1名



皆様こんにちは。今回は生命保険の歴史や現状についてお話しいたします。

### 1. 生命保険の誕生

日本に生命保険の概念が持ち込まれたのは1867年(慶応3年)、福沢諭吉によって紹介されたものが最初とされています。その後1880年、福沢諭吉

の門下生が保険会社を設立し、その系譜を継ぐ会社が現在の明治安田生命になります。一方日本における外資系保険会社は、1901年(明治34年)のマニライフ生命とされています。ただし第二次世界大戦前に一度すべて撤退し、戦後初めて入ってきた企業(1971年)が、私が所属するメットライフ生命保険(旧アリコ・ジャパン)でした。アリコ・ジャパンは元々AIG(アメリカの投資会社のグループ)でしたが、2008年のリーマン・ショックを機に身売りされ、現在のメットライフ生命保険会社が誕生しました。ちなみにアリコ・ジャパン時代は少しでも営業成績をあげればかなり羽振りのよい褒賞がありましたが、現在は金融庁の監視も厳しくなったこともあり、おとなしくなりました。

### 2. 日本における保険の加入率

さて、皆様の中で「保険」に入っている方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。実は日本において、国民の90%が何らかの保険に加入していると言われています。では残りの10%はどなたかといいますと、お金持ち、お金がない人、既往症がある方、あるいは保険が嫌いといった方々です。私が仮に顧客から「1億円の資産があるが、相応しい保険はあるか?」と相談された場合、保険ではなく運用に回すべきとアドバイスします。

### 3. 生命保険の基本型

続いて生命保険のお話しに移ります。現在、日本国内に生命保険業界に所属しているのは50社くらいあると言われていますが、取り扱う保険の基本形は3つ(「定期保険」「養老保険」「終身保険」)だけです。仮に「40歳男性、保険金額1000万円、払込期間20年(月払・口座振替)」としますと、定期の場合は約118万円、養老は約1187万円、終身は約1067万円が総支払金額となります。満期保険金の有無などが額の大きさになっていますが、養老と終身の総額は1000万円を超えていることが分かります。これは日本の金利政策が影響しており、

単純に言うと運用しきれない状態と言えます。しかし私が所属する外資系保険会社は米ドルを活用できることから、この限りではありません。

### 4. 人生における三大リスク

あくまで保険会社の視点で考えて、の話となりますが、人生における三大リスクというものがあります。それぞれのリスクには大きな費用が伴います。

#### 1) 死亡のリスク

・遺族生活費 ・住宅資金 ・お子様の教育資金 ・死後の整理資金

#### 2) 長生きのリスク

・公的高齢年金 ・退職金 ・老後生活資金 ・バリアフリー工事費 ・介護施設入居費 など

#### 3) 病気・ケガのリスク

・入院費用 ・差額ベッド代 ・収入の補填 ・ガン治療費用 ・女性特有の病気 など

特に下線の項目は、制度の変更などもあるため、十分な準備が必要です。

### 5. 相続

死後の整理資金として典型的なものが相続(相続税)です。相続税財産は不動産(土地や建物)、預貯金や現金・株式などの投資性金融資産、貴金属、車など、亡くなった方が所有する財産全般です。その基礎控除額について、平成27年1月1日以降に変更があり、それまでより40%控除額が減少(5000万円→3000万円)しました。しかし控除対象として「生命保険の非課税枠」があり、こちらを活用すると、法定相続人の数にもよりますが、事実上控除額を上げることができます。

### 6. 老後生活資金

続いて老後生活資金を考えるにあたり、① いくら必要なのか? ② 公的年金はいくら? を見定める必要があります。公式としては「(ゆとりある老後の必要生活資金—準備済みの資金)×必要な機関(平均余命に基づいて算出)」となりますが、大切なことは、働いて得たお金を『将来の自分に仕送り』するという姿勢です。

かのJ・F・ケネディ大統領は「私には3人の友人が居るから大丈夫」と言っていたそうです。その3人とは医師、弁護士、そしてファイナンシャルプランナーです。皆様もファイナンシャルプランに目を向けていただき、幸せに過ごしていただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

(文・編集:丸塚順子(3月会報担当)/クラブ会報委員会)